

(別紙2)

## 1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年4月9日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3972500460
法人名	社会福祉法人 清流会
事業所名	グループホーム やすらぎの里
所在地	〒786-0021 高知県高岡郡四万十町仁井田114-1
自己評価作成日	平成21年11月5日
評価結果市町村受理日	平成22年4月19日

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	高知県社会福祉協議会
所在地	〒780-8567 高知県高知市朝倉戊375-1 高知県立ふくし交流プラザ
訪問調査日	平成21年11月26日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://kaigo.pippikochi.or.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3972500460&amp;SCD=320">http://kaigo.pippikochi.or.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3972500460&amp;SCD=320</a>
-------------	---

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

中山間地域の長閑な田園風景の中、季節の移ろいを感じながら、ゆっくりとやすらぎのある生活ができる。そんなグループホームです。外出や季節ごとの行事も取り入れています。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所は、清閑な田園地帯に立地し、法人のケアハウスと隣接し、小さな庭を中心に居室があるユニットと、少し離れてケアハウスと廊下で通じているユニットで構成されている。利用者は、共有スペースでのんびりと過ごし、地域住民との交流は少ないが、宅老所やケアハウスの利用者と行事を通じて交流している。運営者は職員教育の重要性を理解し、職員は積極的に研修に参加するとともに伝達研修を行うなど、職員資質の向上に取り組んでいる。前回評価で課題となった事項について、改善に取り組んでいるが、管理者の交代もあり、引き続き取り組むことを期待したい。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	<b>○理念の共有と実践</b> 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	管理者は一人ひとりの個性を大切にしながら「やすらぎの在る生活を過ごせるように」という理念について、日頃から朝礼時に職員と話し合っている。	事業所独自の理念を職員で話し合い作り上げている。職員会などの機会を捉え理念の再確認を行い、利用者本位のケアの実践に繋げている。	
2	2	<b>○事業所と地域とのつきあい</b> 利用者が地域とのつながりながら暮らし続けられるよう、事業所事態が地域の一員として日常的に交流している	夏祭りや保育園、小学校の行事などに参加したり、園児、児童、宅老所との交流をしている。	自治会に入会していないが、広報等は地域の総代から配布されており、清掃作業等は法人として参加している。また、隣接のケアハウスで開催される宅老所に利用者も参加したり、保育所、小学校との相互訪問など、地域の一員として交流している。	
3		<b>○事業所の力を活かした地域貢献</b> 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	隣接している多機能型施設と連携し、月間計画に沿って添って、地域住民の方々と交流を図っている。(コーラスサークル、柿の木山クラブ) また、小学生の体験学習の受け入れなども行っている。	/	/
4	3	<b>○運営推進会議を活かした取組み</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2カ月毎に運営推進会議を行い、民生委員や地域包括支援センターの方々の意見を求め、サービス向上に活かしている。	事業所から入居者の状況や運営状況の説明を行い、意見交換をしているが、議事録に委員の意見等の記述が少なく、委員の意見の内容が確認できない。	運営推進会議で出された意見、提案等のやりとりの概要を記録し、会議の内容が分かるように工夫することが期待される。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p><b>○市町村との連携</b></p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>解決困難な問題について、他者の意見が必要と思われる際は運営推進会議等で意見を聞く様、努めている</p>	<p>市町村が行う研修会や福祉用具のついて相談するなど、日頃から協力関係を築いている。</p>	
6	5	<p><b>○身体拘束をしないケアの実践</b></p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>全職員が研修に参加できる機会を持ち、個々の意識を高めるよう努めている。また、月刊誌やパンフレット等を閲覧し、拘束をしないケアについて周知している。</p>	<p>身体拘束に関する研修や職員会で話し合い、身体拘束のないケアの実践に取り組んでいる。外出傾向にある利用者については、外出した時は、さりげなく後方から安全の確保や利用者のプライドを損なわないよう見守っている。</p>	
7		<p><b>○虐待の防止の徹底</b></p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>月に一度のミーティングや毎日の朝礼で、その日にあった事を報告し合い、虐待が見過ごされることがないように早めに対応したり、職員のスキルアップに努めている。</p>		
8		<p><b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b></p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>必要に応じて、権利擁護関係機関と連絡を取り、活用できるように準備している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、事務長もしくは管理者が説明を行い、納得を頂いている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	重要事項説明書に受付窓口と、管理者とを明記しており、面会時などに相談や意見を気軽に申し出てもらえるよう配慮している。	事業所の行事に合わせて家族会を開催しているが、県外在住の家族が多く、参加者は4～5名程度となっている。金銭管理等に対する苦情について、電話で対応しているが、改善策等が記録されていない。	家族からの意見や苦情は、対応の内容や改善策等を記録し、職員間で共有し、運営推進会議にも報告するなど、事業所運営の透明化を図る取り組みを期待したい。
11	7	<b>○運営に関する職員意見の反映</b> 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員一人ひとりの意見を取り上げ、レクリエーション行事などに反映させている。	ミーティングや毎朝の朝礼等で意見や提案を聞き、すぐに取り組めることは対処したり、検討を要する事項は話し合うなど、運営に反映させるようにしている。	
12		<b>○就業環境の整備</b> 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員との風通しを良くし、運営状況について共有したり、働きやすい環境の整備に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<b>○職員を育てる取組み</b> 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	出来るだけ外部研修に参加できるようにし、研修後には報告書を作成し、伝達研修を行い全職員で共有している。		
14		<b>○同業者との交流を通じた向上</b> 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	市町村のグループホーム連絡会議や市町村のケアマネージャー連絡会に参加し、情報交換など積極的に行い、サービス向上に努めている。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<b>○初期に築く本人との信頼関係</b> サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時にはご本人と深くコミュニケーションを図り、利用者の思いに沿うよう信頼関係を築いている。		
16		<b>○初期に築く家族等との信頼関係</b> サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居時には、家族が気軽に相談出来るようコミュニケーションを図り、家族の思いに沿うよう努力している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	ご本人やご家族の要望を聞き出し、必要とする支援を見極め、ケアプランに反映するよう取り組んでいる。		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	個人の尊厳を保ちながら、日常生活を一緒に営み、個々の役割を見出せるようにサポートを行ったり、さりげない支援に努めている。		
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	家族との連携を密にして、要望などを聞き入れ、支援方法の検討を行っている。		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	馴染みの場所へ外出をしたり、知人の訪問の際には、お茶でもてなし、くつろいで頂いている。	入居時に、これまでの地域での生活等を把握し、馴染みの店での買い物や美容院を利用している。また、知人、友人の訪問を受けた際は、引き続き関係が継続できるよう取り組んでいる。	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	入居者の間に職員がさりげなく入り、孤立する事がないよう、サポートを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>元の利用者や家族が来訪された折には、親密に対応し、近況を伺ったり、お茶でもてなす等の対応を行っている。</p>		
<p>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>アセスメントを十分に行い、ケアプランに活かすようにしている。</p>	<p>日々の関わりの中で、言葉や表情などから、利用者一人ひとりの思いや意向を把握している。意思疎通の困難な利用者については、日常の言葉や態度、家族の意見を総合して推測するなど、利用者本位のケアに取り組んでいる。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>家族等から情報を得たり、日々の一人ひとりの会話の中から、その人を知るよう努めている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>日々のケース記録をもとに、申し送りにて日々の変化等を話し合う場を設け、職員一人ひとりが個々の状況を把握するよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	月に一度のアセスメントやモニタリングの結果を家族に報告し、意見を聞き、ケアプランに反映させている。	利用者、家族から希望等はまだあまり出されていないが、毎月アセスメントを行い、理念である自分らしさを大切にした介護計画を作成している。長期目標6カ月、短期目標3カ月を基本に設定し、状況に変化があれば、その都度見直している。	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	ケース記録に実施したケアプランの把握ができやすいように記載し、見直しに活かしている。		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	月に一度のミーティングやモニタリングにより、必要に応じたサービスを提供できるよう心がけている。		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	法人発行の通信（GH情報記載）を、公共機関や他の事業所に配布している。また、商店等と関わりながら、グループホームについての理解と協力を得られるよう働きかけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>心身の変化や異常発生時には、気軽に相談できる医療関係者を確保している。（医師、歯科医師、看護師）</p>	<p>家族の希望で協力医療機関に変更することもあるが、従来のかかりつけ医に受診している利用者もいる。通院介護は家族、職員が分担して行っているが、家族から受診結果の報告を受け、業務日誌に記載し職員間で共有している。</p>	
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>併設するケアハウスには看護師が常駐しており、日常の健康管理などの相談、助言を受けている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>協力医療機関の相談員、家族、本人と情報交換や相談ができるような体制を整えている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>家族、医療機関と連携を図り、親密な話し合いができるように努め、職員間でケア方針を共有している。</p>	<p>入居時に看取りの対応方針について家族の意向を確認している。これまでも看取りの事例があり、家族等の希望に沿って、医療関係者とも連携し、家族等が納得して最期を迎えられる支援体制が整っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルをもとに定期的に訓練を行い、緊急時に対応できるよう努めている。		
35	13	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	法人施設が地域の避難所となっており、地域との交流により協力体制をとるべく働きかけている。年2回の合同防災訓練を通し、職員、入居者の防災意識の向上に努めている。	年2回、消防署の協力のもとケアハウスと合同の防災訓練を実施している。ケアハウスが地域の避難場所に指定されているが、地域住民の参加は得られていない。災害時の食料等の準備は業者に委ねている。	災害時には地域住民の協力が欠かせないことから、隣接のケアハウスが地域の避難場所に指定されているなど、条件が整っているため、地域住民の訓練への参加を呼びかけていくとともに、災害時の備蓄については、高知県地震防災対策マニュアルを参考に検討することを期待したい。
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<b>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</b> 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員は常に入居者一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねることのない言葉かけや対応に配慮するよう心がけている。	トイレ誘導時の声かけなど、利用者の誇りを傷つけたり、プライバシーを損なわないよう職員は心がけ、そういった言葉等があった場合は、職員間で注意し合うなど、取り組んでいる。	
37		<b>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</b> 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活のなかで、入居者の希望に沿って戸外に出かけたり、買い物に行ったり、自宅に帰るなど、自己決定の場面作りをしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者ごとに、その人のペースに合わせて個別の生活表を作成し、それぞれのペースを保つよう見守り、支援を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	入居者の希望で、出張美容院を利用したり、家族が同伴して馴染みの美容院に行き、整容している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員も入居者も同じテーブルで和やか雰囲気の中で食事をし、必要時にはさりげないサポートも行っている。	献立は法人の栄養士が立てており、行事食など柔軟に対応している。下ごしらえや後かたづけ等、利用者の持てる能力に応じて、職員と一緒に取り組んでおり、食事は職員も介助しながら同じテーブルで同じものを食している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎回の食事、水分量をチェックし、一日の確保量を把握している。また、栄養面では法人の栄養士にいつでも相談できる体制となっている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	入居者の力を引き出しながら、口腔内の汚れや臭いが生じないように、口腔清拭を日常的に行い、磨き残しに注意し、仕上げ磨きを行う等、支援している。また、定期的に入れ歯の洗浄も実施している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	<b>○排泄の自立支援</b> 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	オムツを出来る限り使用しないで済むように、排泄チェック表で全員のパターンを把握し、入居者それぞれに対し自立に向けた支援を行っている。	排泄チェック表で排泄パターンを把握し、出来るだけトイレで排泄できるよう時間誘導を基本とし、おむつから紙パンツ、紙パンツから布パンツにするなど、排泄の自立支援に取り組んでいる。	
44		<b>○便秘の予防と対応</b> 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取を促しながら、繊維質を多く摂る工夫や適度な運動を取り入れている。排泄チェック表でパターンの把握を行い、便座で少しの間座っていたくなど排便につながるよう支援し、便秘予防に取り組んでいる。		
45	17	<b>○入浴を楽しむことができる支援</b> 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴時間帯、回数、その他希望を伺い、強制することなく入浴できるように対応している。	入浴時間は午後の時間（13時～15時半）を基本としているが、利用者の希望に沿って夜間も19時半まで入浴できるなど、柔軟に対応している。	
46		<b>○安眠や休息の支援</b> 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居者一人ひとりの昼夜の生活パターンの把握を行い、一日の生活リズム作りを通した安眠策をとっている。		
47		<b>○服薬支援</b> 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤情報はファイルに管理しており、薬の内容等について職員間で共有できている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>入居者一人ひとりの一日の生活リズムを基本に、楽しみごとや、生きがい、役割を見い出せるよう、環境づくり、雰囲気づくり、場面づくりを行っている。(テレビ、週刊誌、園芸、外出、家事等への参加)</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>本人の希望により散歩や買い物、ドライブ、外食、ケアハウス等の事業に積極的に参加するなど、支援している。</p>	<p>地域の商店への買い物や散歩など、日常的に外出支援をしている。また、年に6回程度のケアハウスと合同のドライブには、利用者全員が参加して出かけている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>家族より日常生活費として預かっており、その中から本人の希望や支払いの力量に応じた支援を行っている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>利用者から家族に度々電話をしている。手紙のやり取りも代読したり、返事が出ず支援も行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節を感じられる花などを共有の生活空間に飾ったり、ホールより眺められる中庭にも季節の花、野菜を植え、共有空間作りの工夫に努めている。風呂場にのれんを付けるなど、温かみのある配慮にも心掛けている。</p>	<p>季節の花を活けたり、壁面には、格言が書かれた日本タオルや、写真や書道の作品を飾り、また、ホールや畳の間でくつろげるなど、生活感や季節感を感じることが出来る共用空間となっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共有空間（ホール、食堂、畳の部屋など）で、それぞれ寛げる場所を何箇所か小分けに確保している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>タンス、仏壇、アルバムのほか、壁に家族の写真や好みの物を入居者の目線に合わせ飾るなど、居心地のよい環境となるよう支援している。</p>	<p>タンスや衣装箱など馴染みの物を置き、また、仏壇や家族写真を飾り、それぞれの居室が個性的で、生活感があり、居心地よく過ごせる居室となるよう配慮している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>トイレ、食堂、風呂場、居室などに目印や名前などを大きく書いて、利用者が安全かつ自立できるように工夫している。</p>		

V アウトカム項目		ユニット名 既設	
項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	<b>○理念の共有と実践</b> 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員全員、月一回のミーティングを通し理念を復唱し共有している。		
2	2	<b>○事業所と地域とのつきあい</b> 利用者が地域とのつながりながら暮らし続けられるよう、事業所事態が地域の一員として日常的に交流している	保育園、小学校、地域ボランティア団体の方々の行う行事にも参加し、日常的に交流している。		
3		<b>○事業所の力を活かした地域貢献</b> 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	隣接している多機能型施設と連携し、月間計画に沿って添って、地域住民の方々と交流を図っている。(コーラスサークル、柿の木山クラブ) また、小学生の体験学習の受け入れなども行っている。		
4	3	<b>○運営推進会議を活かした取組み</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議での家族からの要望・意見に対し可能な範囲で答えられるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<b>○市町村との連携</b> 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	解決困難な問題について、他者の意見が必要と思われる際は運営推進会議等で意見を聞く様、努めている		
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全職員が研修に参加できる機会を持ち、個々の意識を高めるよう努めている。また、月刊誌やパンフレット等を閲覧し、拘束をしないケアについて周知している。		
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	個々の意識を高め、研修等を通じて学ぶ機会を持ち、虐待を見逃すことがないように努めている。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	必要に応じて、権利擁護関係機関と連絡を取り、活用できるように準備している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、事務長もしくは管理者が説明を行い、納得を頂いている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	重要事項説明書に受付窓口を明記しており、家族の相談・意見を気軽に話して頂けるよう配慮に努めている。		
11	7	<b>○運営に関する職員意見の反映</b> 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	連絡帳・月一回のミーティングを通し、日々、意見交換を行っている。		
12		<b>○就業環境の整備</b> 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員との風通しを良くし、運営状況について共有したり、働きやすい環境の整備に取り組んでいる。		
13		<b>○職員を育てる取組み</b> 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	出来るだけ外部研修に参加できるようにし、研修後には報告書を作成し、伝達研修を行い全職員で共有している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	市町村のグループホーム連絡会議や市町村のケアマネージャー連絡会に参加し、情報交換など積極的に行い、サービス向上に努めている。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	入居時にはご本人と深くコミュニケーションを図り、利用者の思いに沿うよう信頼関係を築いている。		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	入居時には、家族の方が話しやすい雰囲気を作るように心掛け、分かりやすく説明を行っている。		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	ご本人やご家族の要望を聞き出し、必要とする支援を見極め、ケアプランに反映するよう取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>本人との会話や一緒に生活し過ごしていく中で、もう一つの家族と思ってもらえるような働きかけをしている。</p>		
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>本人に変わった事がある場合は連絡をし、状態の変化等を伝えるようにしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>行事、外出などで馴染みの場所などを検討している。また、友人なども気軽に足を運んで頂いている。</p>		
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>レクリエーションや散歩、日々の生活の中で利用者同士の関わり合いや関係づくりができるよう心掛け支援している。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>サービスが終了しても、外部で会った時などは挨拶や近況を聞くなどし、関係を継続できるよう心掛けしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の思い、希望、意向に沿えるよう本人や家族に話を聞くなどし、把握できるように努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者、家族から情報を頂いたり、また、日々の会話の中から、その方を知れるよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ケース記録に記載し、申し送りを行うとともに、利用者の現状を把握するよう努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、家族、周囲の関係者の話を伺い、より良い介護計画ができるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>ケース記録に実施したケアプランの把握がしやすいように記載し、見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々に対応するニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>隣接するケアハウスとは日常的に触れ合っており、近隣住民の方、地域の宅老所の方の出入り、園児・小学生との触れ合う機会を設けている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>法人発行の通信を公共機関や施設に配布する等し、グループホームについての理解が得られるよう働きかけている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人・家族の希望に沿って柔軟な対応を行うとともに、家族と連絡を取り合いながら、かかりつけ医との関係を維持している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	併設施設の看護師に日常の健康管理など相談し助言を受けている。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時は医療機関に介護要約を提供し、頻繁に見舞うようにしている。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族、医療機関と連携をとり、早い段階から対応できるよう努めている。また、状況に応じて、その都度話し合いを行い、対応方針を共有している。		
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事故発生時や緊急マニュアルは職員各自が把握している。また、職員が対応できない場合は併設施設の看護師に対応してもらうようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>法人施設が地域の避難所となっており、地域との交流により協力体制をとるべく働きかけている。年2回の合同防災訓練を通し、職員、入居者の防災意識の向上に努めている。</p>		
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>職員一人ひとりが人格を尊重し、誇りやプライバシー、自尊心を傷つけない言葉掛け、対応に努めている。</p>		
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>重度化が進み、現状では困難な場合もあるが、できるだけ自己決定できるように働きかけている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者の方の希望に沿えるように本人の意向を傾聴し、職員は一人ひとりのペースを大切に支援をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	利用者の希望に合わせて化粧したり、行事等がある場合はおしゃれにも気を配り、清潔感ある服装で過ごして頂くよう支援している。また、出張美容も利用している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	準備、片付け等は利用者が身体的に重度化してきているが、少しでもできることをしてもらい、職員も利用者と一緒に同じテーブルで食事をしている。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	摂取量や栄養バランスに関しては栄養士が行っている。水分量に関しては1日1200mlを目標として水分摂取できるよう努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	誤嚥性肺炎予防のため、必ず毎食後に口腔ケアは実施している。また、利用者一人ひとりのADLに応じた対応をしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	トイレで排泄することを目標にして、支援に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		<b>○便秘の予防と対応</b> 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	十分な水分摂取とレクリエーションで取り入れる体操などで便秘を予防するとともに、個々に合わせた服薬を行っている。		
45	17	<b>○入浴を楽しむことができる支援</b> 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	利用者の希望やタイミングに合わせた入浴を行ってはいる。身体的に重度の方は、入浴日や時間帯を設定せざるをえない場合もある。概ね2～3日に1回の入浴支援をしている。		
46		<b>○安眠や休息の支援</b> 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中に活動するよう支援し、夜間の安眠につながっている。		
47		<b>○服薬支援</b> 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ケース記録に処方箋を入れ込み、職員間で共有している。また、誤薬防止のため、薬は手渡し、その都度確認をしている。		
48		<b>○役割、楽しみごとの支援</b> 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	職員が一緒になって楽しむことで気分転換にもなっており、本人が希望に沿った対応をしている。また、本人の潜在能力が発揮できるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>天気の良い日には戸外への散歩を取り入れている。屋外の行事は隣接しているケアハウスと一緒にいき、利用者は参加している。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金を所持し、使える方には買い物に同行し、気分転換を図って頂くように支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>身体的にも重度の利用者は困難な部分ではある。利用者の状況について、半年に1～2度程、職員が家族の方に伝えている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節を感じられる花などを共有の生活空間に飾ったり、ホールより眺められる中庭にも季節の花、野菜を植え、共有空間作りの工夫に努めている。風呂場にのれんを付けるなど、温かみのある配慮にも心掛けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	ソファ等、多く設置しており、どこでも好きな時、好きな場所で寛ぎながら気のあった者同士で過ごせる空間作りに努めている。		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	壁に家族の写真や好みの物を入居者の目線に合わせて飾ったりする等、入居者が安らぎ温かみを感じられるよう支援している。		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	トイレ、食堂、風呂場、居室などに目印や名前などを大きく書いて、利用者が安全かつ自立できるよう工夫している。		

V アウトカム項目		ユニット名 新設	
項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている。 (参考項目：30, 31)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている。 (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

項 目		該当するものに○印	取り組みの成果
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない